

ハンドブック  
ワンポイント  
レッスン

# 知っておきたい規則とルール

## Question

この春から中学校で部活動の指導をすることになりました。

ソフトテニスの経験は中学生の時に部活に入った程度でルールについては詳しくありませんのでご指導ください。先日の団体戦で我が学校は途中で負けてしまいましたが、決勝戦を観戦していることです。

時間が遅くなったので2面展開(1・2コート)で行うことになりました。その際1コートと2コートの間にパイプ椅子が準備され、A校の顧問さんはその椅子に座ってアドバイスをしていましたが、B校の顧問さんははじめ1コートのベンチにすわったままアドバイスをしていましたが、時々2コートに移動してアドバイスをして1コートに戻っていました。

せっかくパイプ椅子が置かれているのに変だなと感じたのですが、顧問の座る位置はどちらでも良いのでしょうか？

もう1点、試合中にA校の3番目の選手がコートの外に出て行きましたが、勝手にコートを離れても良いのでしょうか？

## Answer

団体戦で2面展開(3面展開)のときの監督の位置について、2面展開のとき両コートの間中央に位置し、1面・2面のアドバイスをします。3面展開の場合は、真ん中のコートに位置し、2面展開に準ずるものとなっています。

新年度を迎え、公務分掌により部活動の顧問の割り振りがあり、ソフトテニスを担当される様になられ、早速大会に引率して行かれ大役を果たされたのですね。ご苦労様でした。

ルールも以前とは変わって来たところがあります。今回の大会が(公財)日本ソフトテニス連盟主催の大会につながる予選会であれば、(公財)日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック(競技規則、審判規則、大会運営規則)」により行うことになると思いますが、中学校の大会は一部中体連ルール(ローカルルール)があります。それらの事は、大会主催・主管団体は大会要項に銘記するか、競技上の注意として監督会議で説明をして皆さんに承知してもらい運営がなされることとなります。

今回の団体戦における2面展開については、当然監督会議で説明があったと思います。監督(顧問)の座る位置については、大会運営規則第9条(競技方法)の第4項に団体戦で「2面展開(3面展開)のときの監督の位置について、2面展開のとき両コートの間中央に位置し、1面・2面のアドバイスをします。3面展開の場合は、真ん中のコートに位置し、2面展開に準ずるものとする。」となっています。また、競技規則第38条(禁止事項)第3項の「大会主催者は助言をする位置を定めることができる。その位置がフェンスの中にある場合は、そのマッチ中助言をするものは原則として移動をすることができない。」と謳われています。これらから、B校の監督さんはルール違反をしていることとなりますが、

B校の監督さんは説明を聞いていないか、ルールを知らなかったのかも知れません。しかし、ベンチを移動していることが分ければレフェリーは注意するなり、イエローカードを出しても不思議は無いと思います。従って、2面展開のとき監督（顧問）は、両コート間の中央に位置し、1面・2面のアドバイスをしなければなりません。

なお、マッチをしていない控えの選手がコート外に出ていいかどうかについては、予め監督会議等でその取扱い（練習や生理的現象を含め、コート主任やアンパイヤーに許可を得る等）について決めておくようお願いしています。この部分はローカルルールの適用と考えられます。顧問になられたならば、まず、ハンドブックについて十分なご理解と、中体連ルールにもご理解をいただき、生徒のご指導宜しく願います。

#### 【関連規則】

競技規則第38条（禁止事項）第3項

大会運営規則第8条（競技規則等の特例）(1)、

第9条（競技方法）第4項

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

14. 禁止事項 (3)

